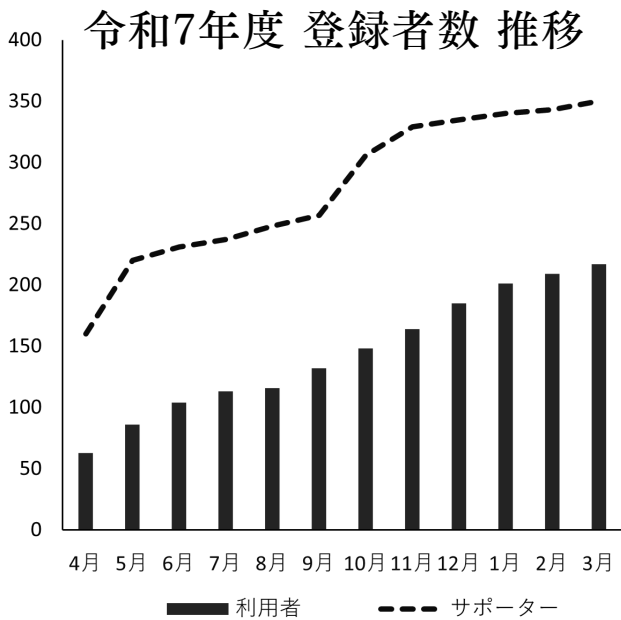


# ちょこっとささえあい センター便り

刈谷市東陽町1-32 ☎0566-63-6055

vol.06



## ちょこっとささえあい 事業 最新情報

令和8年5月1日現在 利用登録者数 237名  
サポーター登録者数 357名

令和7年度は9月から11月まで地区の市民館に向向いて出張説明会を集中的に行いました。そのため9月からサポーターの数がぐんと増えました。今後はさまざまな団体、地域の集まり、サークルなどの活動場所に向向いて出張説明会を行いますので、自分たちの集まりに来てほしいという方がいましたらセンターまでお電話ください。

## 交流会を開催しました

4/25(土)に第4回サポーター交流会を開催しました。28名のサポーターさんが参加してくださり、日ごろの活動についての感想やご意見をテーブルごとにお話しいただきました。



交流会の最後には今日感じたことについて4名の方にお話しいただきました。みなさんご参加くださり、ありがとうございました。

## 交流会での話題、車いす体験

座談会では、利用者の家まで行けると思ったのにたどり着けなかった話、草取りの道具があるのか分からなくて行ってみたらなかった話、地区の集まりで「困りごとがあるけどどこか頼めるところはないか」という話を聞き「ちょこっとという刈谷市の事業があるよ」と教えたらとても喜ばれた話などいろんなお話をうかがいました。職員一同、利用者・サポーター両者とのコミュニケーションをさらに強化していかなくては、と気持ちを新たにいたしました。

また、今回の交流会では車いすの基礎的な使い方を学び、実際に乗ったり、人が乗っている車いすを押ししたりして体験しました。みなさんとても意欲的に取り組んでいただきました。



## 私たち、新しい職員です

この5月から、2名の新しい職員が仲間入りしました。温かく見守っていただけると幸いです。



柘植

はじめまして。困りごとに寄り添いながら、お互いさまの温かな繋がりを広げるお手伝いをがんばります！



三浦

思いやりの気持ちを大切に、みなさんから学びながらがんばります。

## ルーキーにインタビュー①

今号から、最近デビューしたサポーターさんへのインタビューをご紹介します。何号かに分けて掲載する予定です。インタビューはアンケート方式で実施しました。

### Q.ちょこっとささえあい活動で初めてお手伝いに行ってみてどうでしたか？

A. 行ってみたら緊張が解けました。(草取り)

利用者さんの期待に応えることができるか不安がありましたが、ご近所さんということもあり、共通の話題等で和やかな時間を過ごすことができ、利用者さんの笑顔が見られて、私もとても楽しく活動することができました。(話し相手)

終了時間が近づいてくると、お話をどのタイミングでどんな言葉で終わろうか、迷う瞬間があります。(買い物)



\*短い時間でできるので300円いただくのが申し訳なく感じました。(ゴミ出し)

ちょっとした困りごとと無理のない範囲でできることがうまく組み合わせさせて、改めてとてもいいサービスだなと感じました。利用者さんは優しくて気さくな方で、感謝の言葉をいただき嬉しかったです。(剪定)

利用者の方がどんなサポーターが来るのか心配されてましたので、慣れれば安心されるのかなーと思いました。(買い物代行)

\*センターからコメント：ゴミ出し程度のお手伝いで利用料をもらうのは忍びないというご意見をよくいただきますが、利用者さんは「お金がかかってもやってもらいたい」とおっしゃいます。内容としてはちょこっとのお手伝いですが、自宅で普通の生活をするのには欠かせないお手伝いかもしれません。

### こぼれ話

ちょこっと職員にも初めてはあります

## 新しいお手伝いの依頼

デイサービスの送り出しの依頼が初めてありました。内容はデイに持っていく荷物に不足がないかの確認と、目が見えにくい室内を移動して玄関まで行くときの歩行が心配なので見守ってほしいという依頼でした。

ちょこっとでは身体介護はできませんので、腕や腰をとって誘導することはできません。なのでサポーターさんをお願いしていることは、転ばないように見守っていただく、「ゆっくりで大丈夫ですよ」や「段差があるので気を付けて下さい」等の声掛けや、万が一まずいた時にとっさに手を差し出せるように側にいてもらうことです。

センター職員も経験したことのないお手伝いはどのようにサポートできるかをセンター内で話し合い、サポーターさんに依頼を出します。



お手伝いが終了し、利用者の奥様に「一緒にいてもらって安心でした。とても助かります。しばらくお世話になると思いますが次回もお願いしますね」と言っていました。

センターに来る依頼はゴミ出しや掃除など一般的な家事の範囲のものから、通院の付き添いや食器棚の蝶番を交換してほしい、タンスの下半分を処分したいので取り外してほしいなど難しくない内容で、ちょこっと誰かが手伝ってくれば解決できることです。

ちょこっとささえあい事業は昨年12月から川谷市全域での利用が可能になり、サポーターの皆様のたくさんのご協力があって活動も軌道に乗ってきています。今後ともちょこっとささえあいの活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。